



戸田中央病院に タオル2500枚寄贈

埼玉りそな

埼玉りそな銀行(さいたま市浦和区)は、医療従事者や患者に利用してもらおうとタオル約2500枚を戸田中央総合病院(戸田市)に寄贈した。

同病院では新型コロナウイルスの対応が長期化し、医療

(左から)埼玉りそな銀行伊藤舜輔SDGs推進室長、戸田中央総合病院井上祐治財務部長、同北山賀津夫事務部長、同行の石井良輔戸田支店長(同行提供)

現場の最前線で勤務する職員の負担が拡大。その状況を受け、同行は顧客配布用タオルを県内の店舗から集め、地域の医療機関であり、同行の取引先でもある同病院に贈った。

同行担当者は「多くの支店社員が呼び掛けに共感してくれた。今後も地域にできることがあれば積極的に貢献していきたい」と話した。同行は昨年5月にも同様に、県内の新型コロナウイルス感染者が宿泊療養する施設にタオルを寄贈している。

(吉谷篤樹)